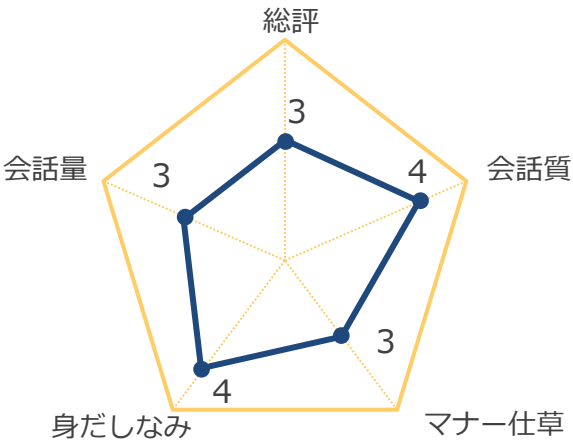


氏名	〇〇 〇〇	インストラクター	△△ △
実施日	2012年9月16日14:30～	場所	××ホテルラウンジ



総評
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 結婚について真剣に考え、明確な意思を持って取り組んでいることが伝わってきて、誠実な印象を受け、パートナー候補として考える上での安心感に繋がりました。</li><li>■ 一方で、「自分がこだわっている部分と、それ以外（どうでも良い部分）」あるいは「自分を受け入れてもらうか、自分が合わせられるか」といった二者択一的な考えが強く感じられ、裏を返せば、『自分を受け入れてくれれば相手は誰でも良いのか』という風にも受け取れてしまいました。</li><li>■ お互いの考えの中に課題があるということが分かったり、一緒に折り合いポイントを考えていく必要があるということを経験したりしながら、それぞれが価値観を変えていったりパートナーと解決を図っていく部分があっても良いと思いますので、そういったことを想定して会話できるとより充実したお見合いになるのではないのでしょうか。</li></ul>

フィードバックの観点			今回のおみれんでの所感	
外形的側面	身だしなみ	“清潔感”が実際のお見合いでも重視されています。 やり過ぎ・やり足りないといった観点や、頭髮、服装、爪、靴など。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 清潔感・落ち着き感のある服装でした。</li><li>・ ご年齢に比べても“しっかりしている”印象があり、好印象でした。</li></ul>	
	マナー・話し方	移動中のエスコートの仕方（前を譲る、先導するなど）や、飲食の仕方・仕草や、声の大きさ・滑舌・話すスピードなど。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 時折、言葉遣いについては粗雑な印象を受ける時がありました。</li><li>・ 取り繕った自分ではなく、ありのままを相手に伝えることは重要ですから、普段口調を無理に変える必要はないですが、“お見合いという初対面の場に向けて調整すること”は普通の礼儀でもあるので、気を付けることができる部分はあると思います。</li></ul>	
中身的側面	会話量・進行	緊張もあって自分の事ばかり話し過ぎていなかったか、あるいは、会話が途切れているのに何も話題を切り出してくれないなど相手任せにしていないかなど。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 〇〇さんが話されているボリュームが多かったように感じました。</li><li>・ 会話のキャッチボールとして、特定の話題に対して、①自分の考えや状態など話す（僕は〇〇なんですよ）→②相手はどうなのかを聞く（あなたはどうですか？）、という流れが多く、少し自分先行型の印象を受けました。</li><li>・ 話が止まった・ひと段落した時に、“次の話題に移って自分の事から話し始める”だけでなく、相手の話について尋ねてから自分はどうかという話をしたりなどすると、</li></ul>	
	場づくり・会話の雰囲気	考えやコメントが、楽観的過ぎたり、いいかげんな印象を与えていたり、逆に否定的過ぎて卑屈な印象を作っていないかなど。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕事の専門的な話を素人にも理解できるように、努力して説明する姿勢など、誠実で好感を持ちました。</li><li>・ 自分の考えがはっきりしていることに加えて、伝え方も明確であったので、それが変えられない絶対的なものなのか、今はそう考えているけど変わる（変えられる）かもしれないものなのか分からない、高圧的に感じてしまう部分もありました。</li><li>・ また年収や学歴を気にされていたようでしたが、（お相手が気にするかどうかを迷うよりも）ご自身が気にせず会話してしまっても良いと思います。</li></ul>	
	パートナー候補としての印象	結婚についてリアルな（安心できる具体さで）イメージを持っていたか。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 具体的な家庭のイメージや子供に対する考え、家族のことなどを伝えようとしていることから、結婚に対する真剣さを強く感じました。</li><li>・ 一方で、相手を理解しようとする姿勢や相手が結婚や家庭で重きを置いていることを知ろうとする意欲は相対的に薄く感じられました。</li></ul>	